

## 気づこう、アンコンシャス・バイアス～真の多様性ある職場を～

ご回答ありがとうございました。

連合は、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、お互いに支え合うことのできる職場・社会の実現をめざしています。

「アンコンシャス・バイアス」という手法を切り口に、無意識の思い込みや偏見があるのかさぐってみながら、「真の多様性」について、まずは“気づく”ことから始めてみたいと思います。

実は先ほど回答いただいた設問すべてがアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み、偏見）に当てはまります。

### アンコンシャス・バイアスを知っていますか？

アンコンシャス・バイアスは、「無意識の思い込み、偏見」と訳され、誰かと話すときや接するときに、これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、「この人は〇〇だからこうだろう」「ふつう〇〇だからこうだろう」というように、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされるものです。

### アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるものです

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあり、悪いわけではありません。問題なのは、気づかないうちに、「決めつけ」たり、「押しつけ」たりしてしまうことなのです。

私たちは同じモノをみているも、一人ひとり「解釈」は異なります。

無意識のうちに（知らず知らずのうちに）、相手を傷つけたり、相手を苦しめたりしていることがあります。そういった事に対処するためにも、誰もが知っておいたほうがよいと思われる概念として、近年注目をあびるようになりました。

アンコンシャス・バイアスがある、ということ意識し行動することでよりよい職場や社会の実現に近づきます。

職場にあふれている「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）」に気づくこと、それが連合のめざす、真の多様性ある職場への第一歩だと考えます。

詳しくはこちら→<https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/diversity/>

